わだい

佐藤市民部長（市長代理）から委嘱状の交付を受ける宮本哲也一の宮小学校長（カルデラＡＳＯにて）

差別のないまちづくりを

カルデラＡＳＯ・コミュニティーセンター運営審議会

カルデラＡＳＯ運営審議会（委員11名）と市コミュニティーセンター運営審議会（委員14名）が6月14日、30日にそれぞれ開かれ、新たな委員に委嘱状が交付されました。

その後行われた審議会では、昨年度の事業報告と今年度の事業計画が諮られ、差別のないまちづくりに向け、住民交流の拠点となる開かれたセンターとしての事業運営などについて、慎重に審議されました。

内牧温泉街、旅行客のおもてなし評価

阿蘇温泉観光旅館協同組合が厚生労働大臣賞

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会が主催する第19回「人に優しい地域の宿づくり賞」が6月8日発表され、阿蘇温泉観光旅館協同組合（稲吉淳一会長）が最優秀賞の厚生労働大臣賞を受賞しました。

同組合は外国人をはじめとする旅行客が飲食店を利用しやすい環境整備として、タブレット端末を活用した温泉街の飲食店を紹介するサイトを構築。5カ国語に対応したメニュー表記や動画紹介など、地域一体となった取り組みが高く評価されたものです。

旅館業を営む関屋洋一郎さんは「事業者の方との信頼関係を築き導入することができた。一緒に取り組むことで大きな力になった」と受賞の喜びを語りました。

表彰

市役所に受賞報告に訪れた永田祐介さん（中央）と関屋洋一郎さん（右）

阿蘇内牧夜のグルメガイド「ふらっと内牧」ホームページ

22店舗の情報が集約され、店舗を紹介する動画やメニューが参照できる。店舗に設置のタブレットで注文なども行える。

広告
阿蘇で唯一の認定補聴器技能者の店
熊本県各市町村福祉契約店
財団法人 日本眼鏡技術者協会登録・認定眼鏡士®の店
認定補聴器技能者 第18-2935号
認定眼鏡士 古物商許可
阿蘇品 伸二
あそしな
※ご自宅までの送迎・出張サービスは無料で行っております。
☎0967-22-3619 携帯 090-4678-2995
聴力測定室設置致しました！
補聴器の効果が見てわかる
「補聴器効果測定」実施中！

熊本地震復興支援イベント　阿蘇の夏空へ

由紀さおりさん・安田祥子さん姉妹の美しい歌声に感動

復興支援イベント「由紀さおり・安田祥子童謡コンサート」が7月12日、市内ホテルで開かれ、来場した約600人の観客は、二人の透き通る美声に酔いしれました。

被災者を元気づけようと市が主催し行ったもので、コンサートでは、馴染み深い童謡約20曲を披露。リクエストコーナーでは、観客からの要望に応え、参加者全員で歌う場面もあるなど、約1時間半のコンサートは盛況のうちに閉じました。来場者は「幸せなひとときを過ごせ、元気がでました」と感激した様子でした。

開演序盤に『童謡 ふるさと』を披露する２人。「皆さんの故郷を取り戻してしていただきたい」と地震からの復興を祈りました。

お二人からお寄せいただいたコメントの一部をご紹介します

阿蘇のみなさまの前で歌わせていただくご縁を頂戴しました。正直、不安もありました。いまのタイミングで伺うことがよいのか、私たちの歌う「ふるさと」は、被災された方々にお辛い思いをさせるのではないか…。空港に向け降下する飛行機の窓からは、ブルーシートに覆われたいくつものお家が見えました。阿蘇に近づくにつれ、コンサート前の緊張とは少し違った思いに胸が震えました。

そうして少しだけ、揺れる気持ちでこのステージに立ちました。ところがどうでしょう。雨の中、会場は大勢のみなさまであふれ、輝くような笑顔で温かく、私たちを迎えてくださったのです。まるで帰省した家族に向けるかのように。１曲目を歌い、「あぁ、今日、このステージに立ててよかった」と確信しました。そして「ふるさと」を、万感の思いを込めてお届けすることができました。

みなさま、最後の１曲まで熱心に耳を傾けてくださって、私の心配は杞憂に終わりました。何かお役に立てればと思って来た私たちのほうが、お客さまの素敵な笑顔に勇気や元気をいただいたひとときでした。おひとりおひとりをお見送りした時の手のぬくもりは忘れられません。

まだまだ大変な日々が続くことと思いますが、そんな時に少しでも、今日私たちに見せてくださった笑顔の時間を思い出していただければと思います。阿蘇のみなさま、ほんとうにありがとうございました。今日から、熊本が、阿蘇が、私たちの“こころのふるさと”になりました。

2016年7月12日　由紀さおり　安田祥子

終演後、一人一人と握手を交わし、来場者を見送る２人

写真展で元気な阿蘇をＰＲ

熊本市で写真展・内牧駅前郵便局が企画

地震からの復興に向けて「元気な阿蘇」をＰＲしようと7月上旬から中旬にかけて、熊本市の熊本上通郵便局で、阿蘇市のアマチュアカメラマンによる写真展が開かれ、多くの人で賑いました。

この企画は、内牧駅前郵便局が、4年前の豪雨災害以降、阿蘇の復興につなげたいと毎年7月に催す企画の一環として開いたもので、これまでも阿蘇の物産展などを開いてきました。

写真展では乙姫在住の村上憲雄さんが撮影した地震前の写真を中心に15点を展示。来場者は足を止め、作品を鑑賞しました。

表彰

見事、最優秀賞を受賞した農業食品科の4人。（左から岩永和也さん、山本海登さん、廣瀬華咲音さん、秋吉楓さん）

イチゴのオール電化栽培に光

県学校農業クラブ連盟年次大会で最優秀賞

第67回熊本県学校農業クラブ連盟年次大会が6月23日・24日、芦北町で開かれ、プロジェクト発表の部に阿蘇中央高校農業食品科から4人が出場、見事最優秀賞を受賞しました。

大会では、イチゴ栽培における地域資源を活用したオール電化の栽培研究をテーマに、燃料代が通常の8割程度削減できるヒートポンプの活用事例を発表しました。

4人は「農家の方々にも活用してもらい、阿蘇の農家に貢献できれば」と話し、県代表として九州大会での発表に意欲を燃やしていました。

News

被害の大きかった方角に向かって黙祷する職員たち

災害犠牲者に思いを寄せて

九州北部豪雨災害から4年迎える

尊い人命を奪った九州北部豪雨災害から丸4年となった7月12日、市内各所で犠牲者の冥福を祈りました。

阿蘇市役所玄関前では、佐藤市長をはじめ市職員や区長など約100人が並び、防災行政無線のサイレンに併せ黙祷を捧げました。

豪雨災害では、一の宮地区を中心に334カ所の山腹崩壊のほか、内牧地区などでは浸水被害などが相次ぎ、死者21人、行方不明者1人、半壊以上の家屋は1181戸にのぼるなど、未曽有の被害となりました。

わだい

生徒の前で話す井野さん。この日は、一の宮中学校にも出向き陸上部の生徒を指導した。

学校の先輩に生き方を学ぶ

阿蘇北中出身井野洋さん講演

自らの将来を見つめ、今後の進路や生き方に役立てようと阿蘇中学校で7月12日、陸上界で活躍した井野洋さん（阿蘇北中出身）の講演会が開かれました。

『最高の自分を出すために』と題した講演では、自らの経験をもとにプレッシャーや不安の向き合い方などについて講話。被災した生徒に向け「この辛い経験を自分の成長に活かして」とエールを贈りました。

井野さんは、順天堂大学在学時に箱根駅伝で総合優勝、日本選手権1500㍍で優勝するなど活躍。現在は富士通陸上部のコーチとして指導に当たっています。